

序 文

職業人に要求される職業能力は、近年の技術革新の進展にともなう職務変化に逐次対応することが求められています。この変化に対応できる基礎能力を得るために、あるいは変化に円滑に対応するため職業能力開発に大きな期待が寄せられつつあります。

この期待に応えるためには、優良な教材の迅速な確保が必要となります。しかし、職業能力開発のため必要とする訓練コースの種類は極めて多く、これに適する認定教科書、市販図書等の既成教材を確保することは困難な状況となっています。

このため、自作教材により訓練を実施するケースが次第に多くなってきていますが、教材を作成することは容易なことではありません。そこで、平成4年度に行った職業訓練用教材データベース調査研究を基に、本年度は優良な教材をできるだけ短時間で作成するための支援ができるようなシステムの開発に能開大として全校的にとりくむこととして、「システム検討委員会」、「入力データ作成委員会」、「グループウェアによる教材作成委員会」を設置し検討してまいりましたがこのうち、「システム検討委員会」における検討成果、すなわち支援システム本体が必要とする要素と構築手順等についてとりまとめたのが本報告書です。

この報告書にあるような支援システムが実際に完成するためには、ハードウェア、ソフトウェア等システム本体の整備、多くのデータ等の収集、加工等まだ多くの時間等を必要とします。また、今後、システムが皆様のお役にたてるよう、この構築の課程において、システムに対するご意見の聴取、教材作成の実態調査、資料の収集等が必要となります。職業能力開発業務にたづさわる多くの関係者の皆様から力強いご協力を賜りますようお願いする次第です。

なお、本報告書のとりまとめは、主として当研修研究センター開発研究部第4開発研究室が担当したことを申し述べると共に、アンケート調査等にご協力を賜りました各職業能力開発施設等の多くの皆様に厚くお礼申し上げます。

1994年3月

職業能力開発大学校

研修研究センター

所長 城 哲也

検討委員会委員名簿

委員

| | |
|--------|---------------------------|
| 糸井 孝雄 | 職業能力開発大学校 建築工学科 教授 |
| 井上 高正 | 職業能力開発大学校 情報工学科 非常勤講師 |
| 宇良田 慎二 | 君津職業能力開発促進センター 助教授 |
| 大川 時夫 | 職業能力開発大学校 電子工学科 教授 |
| 佐野 茂 | 職業能力開発大学校 基礎学科 助教授 |
| 島田 昌幸 | 職業能力開発大学校 指導学科 教授 |
| 中川 賢一 | 東京職業能力開発短期大学校 講師 |
| 八田 昌之 | 職業能力開発大学校 情報工学科 助教授 |
| 山川 明子 | 職業能力開発大学校 研修研究センター 開発研究部長 |

事務局

職業能力開発大学校 研修研究センター
開発研究部 第4開発研究室

| | |
|-------|-------|
| 後藤 康孝 | 研究員 |
| 坂本 龍彦 | 研究員 |
| 沢田石 仁 | 研究員 |
| 鈴木 弘道 | 室長 |
| 角田 幹二 | 技術専門役 |

オブザーバー

| | |
|-------|-----------------------------|
| 大久保 新 | 労働省職業能力開発局 職業能力開発課 課長補佐 |
| 迎 義夫 | 雇用促進事業団 職業能力開発指導部 大学校指導課 課長 |

参考文献

- 1 情報管理入門 (情報科学技術協会)
- 2 グループワーク支援システムの研究開発報告書 (日本情報処理開発協会)
- 3 マルチメディア白書 '93
- 4 日経コンピュータ (日経BP社)
- 5 日経オープンシステム (日経BP社)
- 6 JOIS ガイド (日本科学技術情報センター)
- 7 情報システムの計画と設計 (情報処理学会編)
- 8 職業訓練用教材開発支援システム構想 (研修研究センター)
- 9 高度化、多様化する職業訓練における図書教材の使用実態 (研修研究センター)

調査研究報告書No.73
職業訓練用教材開発支援システムの開発
～システム検討委員会報告～

発 行 日 1994年3月
発 行 者 職業能力開発大학교研修研究センター
所 長 城 哲也
〒 229 神奈川県相模原市橋本台4-1-1
Tel 0427-63-9005
印 刷 株式会社ワークワン
